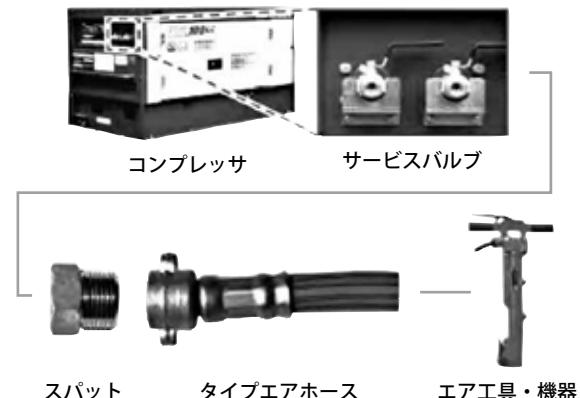


使用例

■ エンジンコンプレッサーで使用できるエア工具及び台数

エア工具	空気消費量 (m³/min)	コンプレッサー型式/吐出(m³/min)		
		100クラス	130クラス	180クラス
		2.8	3.7	5.1
エアチッパー	0.33	7		
	0.5	5		
エアピック	0.7	3	7	10
	0.9 ~ 1.3	2	5 ~ 3	7 ~ 5
エアブレーカー	#10 1	2	4	6
	#20 1.5	1	2	4
	#30 1.6 ~ 2.5	1	2 ~ 1	4 ~ 2
エアカッター	0.6	4	8	
	1.1	2	3	5
ジャックハンマー	1.6	1	2	4

■ 取付例



アフターカーラーとは



エアドライとは

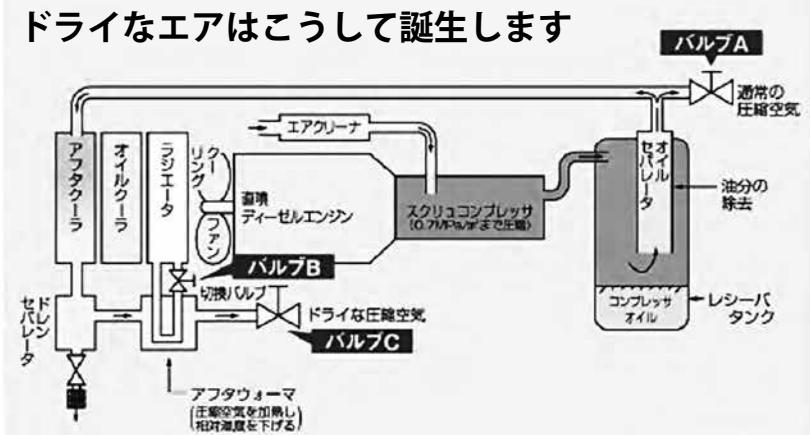
オイルセパレータで油分を取り除かれた圧縮空気は、アフターカーラーで充分に冷却されます。

圧縮空気が冷却されると、圧縮空気中の飽和水蒸気(圧縮空気中に溶けこめない水蒸気)は水滴となり、ドレンとして排出されます。

水を含まなくなった圧縮空気は、エンジン水温を利用したアフタウォーマで加熱されることによって湿度が下がり、ドライエアに変身します。

アフタウォーマのバルブを切り換えるだけで、エアを使用できます。(PD5670SD)ドライエアが必要ないときには、バルブを切り換えるだけで通常のコンプレッサとしても使用できます。

ドライなエアはこうして誕生します



※上記は参考数値です。若干仕様が異なる場合もあります。